

一  
いち部

横線一本で、数のはじめ、「ひとつ」の意をあらわす。「一」をもとにしてできている漢字と、「一」の字形を目じるにして引く漢字とを集めた。

承	③	〇
両	亠	一
丑	⑦	①
並不	並	七
丁	④	丁
且	且	②
丘	丘	下
世	世	三
卅	卅	上
丕	丕	丈
丙	丙	万
与	⑤	与

再	旦	五	二
↓	↓	↓	↓
刃	日	二	二
18	484	42	40
吏	正	互	十
↓	↓	↓	↓
口	止	二	十
95	559	43	159
死	瓦	戸	兀
↓	↓	↓	↓
宀	瓦	戸	儿
63	670	423	100
百	亘	可	才
↓	↓	↓	↓
白	二	口	才

兩	求	而	再
↓	↓	↓	↓
入	半	而	口
108	578	809	1
東	甫	西	更
↓	↓	↓	↓
木	用	西	口
520	676	895	1
雨	豆	亞	死
↓	↓	↓	↓
雨	豆	二	不
1046	928	44	5
屋	酉	更	可
↓	↓	↓	↓
日	酉	曰	口

一	0	歪→止	562
【	1	面→面	1056
】	1 画	頁→頁	1061
四	(教育1)	爾→爻	
画			

【筆順】一  
【指導】横線一本で、天地・万物をバツのじめをあわす。例一葉イチ。一ナツ。万ーマン。

チイを聞く。いってナウを知る。**②** ヒトタビ。一言ケイ。一語ケイ。一言タビ。一語タビ。  
③ ひととの最初。はじめの。例 月ガツ。一次試。例 月ガツ。一月。例 月ガツ。一月。例 月ガツ。一月。  
シケン。一姫。太郎。ニタロウ。④ 最高。最上。例 月ガツ。一流。例 月ガツ。一流。例 月ガツ。一流。  
随。タス。例 月ガツ。トス。例 月ガツ。トス。例 月ガツ。トス。例 月ガツ。トス。例 月ガツ。トス。  
⑤ ひとつにする。同じにする。例 月ガツ。トス。例 月ガツ。トス。例 月ガツ。トス。例 月ガツ。トス。

テイ	イ	ンツ	ツ
一	統	一	統
変	一	變	一
ペイ	イ	ンツ	ツ
もつぱら。	全部	すべ	かり
ひたすら。	ひたすら。	ひたすら。	ひたすら。

[一]  
部 0画

【東】—に強い地震シンドンがあつた。  
【一応】(イチヨウ)  
〔イチヨウ(副)〕①いふぶんではないが。ひととおり。例—最後まで目を通した。(2)とりあえず。急のため。例この存じとは日本本来「一往」と書いたが、いますが「お知らせします」。参考本来「一往」と書いたが、日本で「音首の「一」をあてるようあります。  
【大概】(ガマツチ)〔ガマツチ(名)〕(1)概ねの形で。例外や小さなちがいを無視して。おまかに。おしなべて。例—に悪いとは言えない。—に論じるも誤りをおく。  
【一月】(イチゲツ)  
〔イチゲツ(名)〕「イチゲツ」とも。一年の最初の月。類正月

【一】  
— 帯のように、細くて長い川や海をさがす。また、そういう水にへだつてはいるが、近い距離がある。例えは、海ひとつで日本と韓国<sup>ハングル</sup>、日本と中国、またイギリスとフランス<sup>フランス語</sup>北西部などの近い方にいても、  
— 因みにいくつかある原因のうちの一つ。例へば規則な生活  
— も病氣<sup>病気</sup>です。  
— 一員<sup>一員</sup>だけ体<sup>体</sup>や社会を構成している。おおぜいのうちのひとり。  
— 例へば家族<sup>家族</sup>の一人になる。委員会の一人に加る。  
— 一円<sup>一円</sup>ある地域や場所の全体。全域。範<sup>範</sup>一帯。例へば閑<sup>閑</sup>一帯。

【一位】イチイチ ①位第第一。②番の地位や順位。一等。首位。トップ。ナンバーワン。例一で当選する。③数学で、一つのくらい。「一」位数は、一から九までのひとけたの数。④チイチ科の常緑樹。高木。表記③は「九」とも書く。

【一意】イチイチイチイチ 一つのこと、心を集中すること。ひたすら。もっぱら。例一勉強にむかう。

【一意專心】イチイシイシンイチイシイシン (副)ひたすらそのことだけに心を集中する。例一この問題の達成に努める。

【一言】イチゴンイチゴン 1. 一言。2. マイティア。3. 本音。音符の書(お書き)。

ボリューム

●すこし。わずか。例 一時半（イチジヤン）  
ボリューム したる。少ししたる。例 一喜（イチギ） 長（チヤウ）  
●ある。例 ある。参考 商売や契約（ケイヨウ）の文書では、漢字を書きかえられないよう、同音の「志」や「壹」を使うことがある。

難読 一人ひとり。一寸（イチヅヨウ）。一口（ヒガタ）あらい。一切衆生（サシモ）  
人名 おさま・か・かず・かた・かつ・くに・さね・すすむ・たか・ただ  
だらのぶ・はじむ・はじめひ・ひじ・ひで・ひとし・まこと・まさ  
しまとも。例 ひとにぎり。少（チカラ）の量。例 一の砂。②にぎりこぶ  
しへ中。掌（シヨウ）の中。

専一 イセツン。 ⑧あるひと(の)。ほか(の)。 例一説セイツツ。一方。

〔一言〕ダイゴン（**1**ひとこと、ものを言うこと。例——ナインアットで然  
かるべきだ(「ひどい」弁解や説明などがあるのが当然だ)。—  
ゴンもない(「ひどい」の弁解もできない)。——ゴンのものにはねつけ  
る。②短いことは。一字。一語。一句。例——一句イイコト聞き  
やあ?」  
〔二〕以つて——之こを「**マヨウ**」**ひどい**で全体を要約する。  
〔論語〕**ソニ**——忠も邪も無く無なし  
〔一言居士〕**コジケン**——何にも自分の意見をひとこと述べな  
いと気がすまない性格の人。(少しきらつた言い方)例——

【一芸】<sup>イギ</sup>ある一つの技術や芸能。例へて秀でる(「なにか一つの技能や芸術にすぐれている。」)

【一撃式】<sup>イチギキ</sup>(名)する)ひうちち。一回の打撃。例へーものに敵をいたおした。

【一九元】<sup>イチクイ</sup>①ものごとを考え方のものが一つであること。(例へー元・多元。例へー「この元号を用いる」と。)②〔君主〕一世に一つの元号を用いること。(例へー一世(ハムラビ)は三元・多元。代数方程式で未知数が一つであること。)

【一<sup>イチ</sup>行<sup>ヨウ</sup>】ヨヂョウ 縦書きまたは横書きの文章の一つの「行<sup>ウヨウ</sup>」。  
例<sup>ヨリ</sup> 一<sup>イチ</sup>十<sup>ジ</sup>字<sup>シ</sup>、十<sup>ジ</sup>行<sup>ヨウ</sup>の原稿<sup>ヨウゴウ</sup>用紙<sup>ヨウジ</sup>。〔曰<sup>ヨハ</sup>〕連れだつて行く  
人々<sup>ヒトヅメ</sup>。同行者<sup>ヨウジヤク</sup>。例<sup>ヨリ</sup> 大都會<sup>ヨウコウ</sup>旅行<sup>ヨウリョウ</sup>の一<sup>。</sup>②四<sup>シ</sup>すみのうちの一<sup>。</sup>  
【一<sup>イチ</sup>隅<sup>ヨリ</sup>】片<sup>シ</sup>すみ。例<sup>ヨリ</sup> 一<sup>イチ</sup>拳<sup>ケン</sup>をあげて三隅<sup>サンヨリ</sup>を反<sup>ハサ</sup>せる。「もの」の道理<sup>ヨリ</sup>の一<sup>。</sup>  
端<sup>タマ</sup>タイ<sup>ヲ</sup>示<sup>シ</sup>し<sup>テ</sup>、他のすべてをさしらせる。①軍勢<sup>ヨウセイ</sup>。②全軍<sup>ヨウゲン</sup>。  
【一<sup>イチ</sup>軍<sup>ヨウ</sup>】ヨウあるまとまりをもつた部隊<sup>ブテイ</sup>。公武合戦<sup>コブガッセン</sup>に出<sup>で</sup>る。③スズボン<sup>スズボン</sup>のうつらうつら<sup>うつらうつら</sup>の意<sup>イ</sup>。

【大根】  
外からの方にむかうばかりひとまど  
まい。  
〔例〕全員一となつて強敵に当たつた。

【義】  
①ある意味。ある強調。②いちばんにしつな  
ぎ意味。根本の意義。第一義。例 スポーツの第一義はからだを  
きたえることです。

【議】  
一度の会議。一回の議論。例 に及ぶ(ば)る(な  
んら論するまでもなく)決定した。

【義的】  
形動。①これまで記号が一つの意味にだけ  
解釈(セイカ)できること。例 一二でない表現は混乱をまねく。②  
最も重要な点をもとづく。本質的。③二義的。例 一二でなく、こ

ガシヨウ・睦月。〔ツキ〕  
〔イチゲツ〕とも。一ヶ月。





1

一変は一度変わること?

する。今夜の襲撃の「の」はどうなったか？  
【例】百聞は一に「周」の「周」  
（の）こと。例へて健一は「周」の「周」  
（の）こと。住宅地でなく他とは  
（の）野ながれ。【表記】

がえどみること。例  
「さういふと、おまえの心地ちがえど見えて」といふと、おまえの心地ちがえど見えて見えない。」の価値をもつてゐる。このことから、『金瓶梅』の「(一向)に形会ひにする」(1)「一向」の形会ひにする(2)すぐ形会ひにする(3)ほんとなもので形会ひにする(4)それでも一改改らぬ形会ひにするなど、形会ひの意味は複数ある。このことから、『金瓶梅』の「(金銀)一千金キサ」による「一千金キサ」の意味は複数ある。このことから、『金瓶梅』の「(金銀)一千金キサ」による「一千金キサ」の意味は複数ある。

ひと組み。例　をわが子のひと  
　聖人(すけんじん)　くじむどくさい  
　くじむどくさい  
　めいがよいこと。例  
　めいがよいこと。  
　へー。例　高山  
　高山に浮て  
　ではないが、見  
　われはー。例  
　一異様な  
　めいがよいこと。ひと  
　挑戦(ちょうせん)など  
　じどうり着手す  
　命曰。まだ、そ  
　てもらい、食べ  
　ねば。  
　時間。瞬間。  
　じ場所に定住  
　一に遊ぼう。帰  
　イド(のの)を  
　その状態(例)  
　する。」になる  
　生れたから死滅

例)この反文の意旨は、同じ調子で統べて、「あつかいすること」が、他のある点では実途(じつと)の旅(りょく)の段階(だんかう)の評価(ひょうか)で最も(いちばん)ものと評価(ひょうか)され、極端(ごくへん)な例外(れいたい)のない独特(とくべつ)な道(みち)を示す。例)道(みち)をたどる。道(みち)をたどる。道(みち)をたどる。

「かたまつ」。例一の「个」に通す。さうと通りすりの「ひきこなす」。  
②單手もしくは両手で物体を空へ投げ出す。例一の「地方議員」。例二の「水山の」。例三の「一度また、いっぺん」とあるもの。一度目。  
書籍版では漢字を書く。例一の「ぬれ手を 落ちる」。例二の「くわへてぶが」とある。  
その人独特の見解を示す。例一の「金をひどく キヤウ」。例二の「ひもや 鎖をひく」とある。  
区画。例一の「分譲地」。  
などで開み、ひと縫いの線や、例一の「縫い糸」。  
いる。一時の事で、一度限り。例一の「縫い糸」。  
いる。この「の」の「の」に縮合がある。例一の「ひもや 鎖をひく」とある。  
横に長い書画や、例一の「縫い糸」。  
と。例一の「縫い糸」。  
物の第一の巻。

「…………」かわのり 慶  
「まよとまののなか  
公園を走る。」  
〔内閣〕問  
「にじょうじぎく。」  
が同じであります。  
一致団結。  
その者の政局に対する  
姓シラク。

卷之三

教育にさきがる。一の宝。(2)「一生の」の形で「一生に努力する」など一度だけの意味で使う。例「お願い」の不覚だ。(笑)ショック(名する)ちょっとと笑うこと。(例)悲劇(→急に泣いてしまう)生きている限り。(廻)終生・一生。(例)一を生涯(→人生)へやな仕事。

生懸命(ケンシヨウ)名形動び「(「所懸命ケンシヨウ)の変化」をなす。死ぬまでに生きる。最善をくじて努力する。例「たかに」だが、成果が上がらない。(将)ソーシャルワーク(功成身退)功成身退(→急に成功したが、あたたかくなるが、それがまた多くの下づけや文を読んで、なんどもそのよさをほめない)。(例)三説三嘆(ヒサツサンタク)歴史(カネコト)もよつとしだきのかげがあると、大事が発生しそうな危険迫る情勢。(例)ある国では政情不安で、この情勢だといふ。

所懸命(ケンシヨウ)名・形動ナガ(名・形動ナガ)①日本の中世、武士が主君からあたえられた土地を生計のもととしていたこと。(例)一の地(2)「生懸命ケンシヨウ」に同じ。(矢)シヤウ(法)第一次の裁判。原則として簡易裁判所や地区裁判所でなされる。第審(上級裁判所における二審・三審)に對していう。例一では有罪だった。

【一進一退】イックタイン（名・する）前進したり後退したりすること。また、病氣などの状況キヨシヤウが、よくなら悪くなったりする。【倒病】アーリッシュ 自分の境遇ケカツに關する事。個人的な事。【情】エモーション のところにより辞任した。【心同体】コントダイン 別の人間でありながら身も心も一つになれる。【心不乱】ムカシムズヒテイしてゐる。例の夫婦ワゴンは、だいたい心のことをなでて考へる。【心身】シンジン 強くすびついてゐる。例の夫婦ワゴンは、だいたい心のことを集中させること。【心身】シンジン 名とする。ひとねむり。少しのあいだねむること。例の夫婦ワゴンは、だいたい心のことを集中させること。【一睡】スイプ 名とする。ひとねむり。少しのあいだねむること。例の夫婦ワゴンは、だいたい心のことを集中させること。【炊火】クッヒ ヨミスル 飯を一回炊かして、うたたねをした。【炊の光陰】クッヒノクヨウジン 「光陰」は時間の意。ぎわめて短い時間。【スインの虫】スインノムシ にも五分の魂だ】 小さく弱いものもそれなりの意地があるから、あなたではいけない。【一世】イセタ ①〔仮〕現世。現世ゼン。現世ゼンの三世ゼンのうちの二つ。とくに現世を指す。例の親子は、夫婦ワゴンは二世ゼン。親子の縁は現世だけ。夫婦の縁は来世まで続く。②一生。例の一世一代。例の一世一代。③ある一つの時代。例の一世一代。例の一世一代。④人生の在位期间。例の一世一代元老。⑤同じ名の人の、とくに皇帝のヨウジや法王など。その名の最初の人。例のナボレオン。⑥海外移住者などで第一の世人代の人。例のハイ移民。【一斉】セイイ 〔名〕同時にそつとて何がをする。例の取扱い。【一丸】イチマル 一射連打。例の副。【一斎】セイイの形で一度に。そつとて。例の一飛び出す。【一世一代】イセタゲー ①一生に演じる。生涯ガタウ一度の晴れ舞台タケイ。例の舞台をひどめる。【一世一代】イセタゲー ②役者が引退にさして演じる。生涯ガタウ一度の晴れ舞台タケイ。例の舞台をひどめる。【一夕】セイキツ ①ひと晩。一夜。例の一朝ギョウ。②ある日の夜。



